

外に浸水區域を通過せざる火力發電所—
漢袋里間送電線目下建設中

諸建物

- 當期間に建設せる重なる假建物左の如し
- 嶺北鐵道各驛事務室、機關庫、驛員合宿驛外驛設備
- 漢袋里索道及各驛事務室
- 同 砂利線事務室、機關庫、其他驛設備
- 同 派出所事務室
- 嶺南線保線事務室
- 従事員合宿所（永高）
- 以上完成
- 第一發電所附屬社宅（本建築）
- 従事員合宿所（道安成地院）
- 以上目下工事中 六七月迄に完成の豫定
- 松興里郵便所
- 漢袋里警察官駐在所
- 右に依り當期末迄に建設せる假建物左の如し
- 棟數 二百棟
- 建坪 六千坪

修理工場

松興里修理工場

本期當初に於て完成、目下運轉作業中にして、社用品は勿論請負者請求のものに關しても、修理並に製作に應ぜしめ所期の目的を達しつゝあり。

漢袋里修理工場

機械類は大部分購入済なるも、上家未完成並に輸送未了の爲め、未だ作業開始に至らず、六月末には開始し得る見込。

工所用諸材料

セメント 三井物産 會社より購入の 21 萬 4 千樽は目下陸續輸送中、本期は大半結氷期のこゝろにて使用數量幾許もなし。

木 材 前期に報告せし直營製材所は之れを中止し、當局より拂下を受けたる原木を指名製材所にて製材せしめ、大半の建物に對しては木材を社給とし、工所用諸木材は實費供給す。

本期間中に拂下を受けたる原木は約 26 萬尺縮なりす。

（以上昭和二年四月現在）

朝鮮で生れた名著

〔水の葉〕と云ふ冊子、之は我編輯部が近頃受けた書物の中で最も意義あるものである。水の葉の編者は其巻頭に次の如く述べてをる。

× × ×

土木工事が破壊するものは殆んど大部分水の作用であります、水の處分をうまく考へない工事は常に壞れ勝ちで、然かも此の水に對する設計々算の方法は未だ解決されない問題が多々あり、又た解決されても餘りに高遠なる理論に走り實際に應用するには迂遠な思をする事も多い様である、爲めに水理

土木に従事するものゝ常に實際問題に當り頭を悩ます事一方ではあります。そこで少しなりとも之等水に對する取扱ひを便利ならしめ様と努力して資料を集めましたのが此の水の葉であります。

× × ×

〔水の葉〕は朝鮮總督府内務部土木課の水理研究會で編纂されたもので、内容は日本全國各主要河川の流域面積から氣象水位水害等の統計を初めとし、水理計算用の便利な諸圖表と、河川工事に必要な材料實用表と、水理公式の説明と圖表と、朝鮮及び内地の河川法水量と諸公式、著名堤防の斷面及び土積計算表其他水門、函渠、擁壁、

鐵板、護岸、水利工事、河川測量心得、貯水池、堰堤、ゲート、其他水理に關する有要事項を殆んど網羅して一々簡便なる圖表と説明とを試みて圖解を多くし、最も實用に便ならしめた點は從來の官營著書に見られない親切な趣味的編纂である。

工事書報刊の 172 頁であるが、全部丈夫な模造紙へ石版刷としたもので、綴込自由な表紙と綴紐とを以て必要なメモなり表なりを自由に添加綴込の出来る様にしてある斯る點は編者自らが如何に一般技術上の必要を考へてやつたかを察せられる。希望者には定價金二圓で水理研究會から頒つ管である。